

# 復興研究会報告

No. 29(令和2年度 第2号)

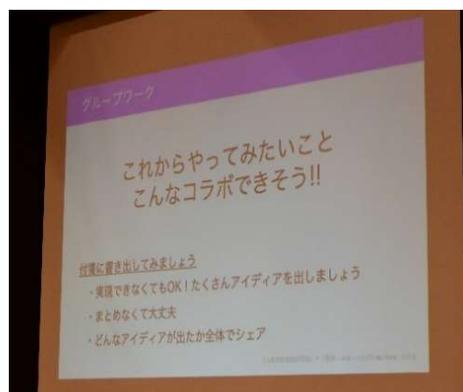
発行  
岩手県立大槌高等学校  
広報班

小國奨太 小國尚人 菊地謙晟  
佐々木颯太 佐々木真尋 松田溪介  
発行日：令和2年9月30日

## 大槌高校 × 釜石高校「夢団」 × 大船渡高校自然科学部 の3校交流

7月4日(土)に大槌町文化交流センターおしゃっちで、本校復興研究会と釜石高校「夢団～未来へつなげる ONE TEAM～」と大船渡高校自然科学部の3校による交流会が行われました。この交流会では、各校の震災伝承活動や防災の取り組みなどについて意見交換を行いました。

今回、釜石高校と大船渡高校の皆と交流し、釜石高校の夢団の発表や大船渡高校の自然科学部の発表を聞いてとても良かった。他校の活動を知るといことはあまりないのでとても貴重な体験だと思った。また、意見交流したり、発表できてとてもよかった。気づかなかったことにも気づくことができ、これからもこのような交流があれば良いと思った。本当にこの交流は充実して楽しかった。(3年女子)



今回の釜石高校「夢団」、大船渡高等学校との交流を通して、夢団の中の組織(備え隊、作り隊、伝え隊、繋がり隊)が4つあることを初めて知った。作り隊では、ラグビーのうちわづくりをする活動をしていた事を初めて知った。また、大船渡高校では三陸ジオパークプロデュースプロジェクトを略して「ジオプロ」と呼んだ活動をしていたり、様々な活動を知ることができるとても良い機会であった。(3年女子)



初めて参加をしてみて、とても緊張した。あまりうまく話せなかったり、自分のやりたいことをパッと見つけられなかったが、先輩たちがやってきた活動をこれからは私たちが引き継いでいきたいと思った。そして、引き継ぎながら自分がやりたいことを見つけていけたらいいなと思った。

他校の人の話を聞いて、参考にできるところは参考にしていきたい。また、先輩たちが活動内容を説明している姿を見てとても格好良く、私もいつか、先輩たちになりたいと思った。そのためにこのような機会がまたあれば積極的に取り組んで頑張りたい。(1年女子)

今回の他校交流では、釜石高校と大船渡高校の活動内容を知ることができた。釜石高校「夢団」の皆さんは、各隊に分けられており、避難訓練やイベント等で災害を「備え」る活動をしている備え隊や防災食や災害に対して役立つアイテム「作り」を企画している作り隊、東日本大震災の経験や教訓を「伝え」ていく伝え隊、他校や地域の方々との「繋がり」を拡げていく繋がり隊があることを知った。大船渡高校は、「自然科学部」という部活があり、科学実験だけでなく、ジオパークをPRしていることを知った。また、発表で話されていたTwitterを拝見したが、陸前高田市の「TSUNAMIメモリアル」を見学したり、Zoomを使い、様々な災害を経験した方に聞く(お話)といったように自分たちの足で行き、目で見て声を聞く素晴らしい活動をしていることが分かった。また、ワークショップを行い、これから自分がどのような活動をしていきたいか考え、知ることができたので良かった。今回の他校交流で学んだことを忘れずに次の活動に生かしていきたい。(2年女子)

今回、2校の発表を聞いて、ほかの学校でも復興に対して色々な活動を行っていることがわかった。近い学校でもお互いの活動を深く知る機会がなかったので、今回活動を学ぶことができてもよかった。

お互いに協力してお互いの活動をより深め、そして、各校の活動を参考にして大槌高校の復興研究会を発展させてほしい。私はもう3年生なので後輩たちにこの活動を継続して行ってほしいと思った。(3年女子)

### 3校での意見交流



画：菊地謙晟

夢団と一緒に何かしたいと今まで考えてきたが、具体的な考えが浮かばなかった。しかし、今回の交流会で一緒に今後何ができるのか、たくさん案が出たことで、実現させたいものを見つけることができた。大船渡高校も加わったことで、より大きなイベントもできる可能性を感じた。今回みんなから出た案の中で一つは実現させたい。そして、3つの高校の交流が、来年再来年と続いてほしいと強く思った。(3年女子)

今回、この活動に参加してそれぞれの学校も本校と同じように、地域の人たちのために全力で活動していることを知ることができた。釜石高校の夢団の中には4つのグループがあることが印象に残った。復興研究会とは違うグループなので、参考にしていきたい。大船渡高校は、三陸ジオパークを世界ジオパークにしたいという大きい目標を掲げ協力している姿が素晴らしいと思った。(2年女子)

初めての交流会で分からない事ばかりだったが、普段あまり他校と話すという機会がないのでとても興味深かった。ほかの高校がどういう活動をしているのか全く知らなかったのが色々な事を知ることができよかったし、もっと知りたいと思った。次にこの3校で交流する機会があるならばもっと詳しく話してお互いの活動の良い点やもっとこうすれば良かった点などを共有しあいたい。また、こういう場ではこのようにするという場の空気感をつかめることができたので私自身いい学びになった。(1年女子)



画：佐々木颯大